Spyderlenscal

SpyderLENSCAL[®] ガイドブック







カメラとレンズの組み合わせのフォーカス性能を測定、調整 するための優れたツールを手にされました。. Datacolor の SpyderLensCal[®]で鮮明でクリアな、信頼性の高い結果と正確 なフォーカス性能をお楽しみ下さい。



SpyderLensCal [™] について	nsCal [®] についてPage 2	
クイック設定	Page 3	
詳細設定	Page 4	
リンク	Page 7	





日々の写真で使用可能なショット数が大幅に改 善されます。SpyderLensCal[™]は、デジタルー眼レ

フのオートフォーカス微調整を使用してシャープなフォー カシングが出来るように設計されています。またポータブル で、いつでもどこでも交換レンズと、デジタル一眼レフのボデ ィをキャリブレーションすることができます。





SpyderLensCal[®]を、適切な位置に置きカメラとレンズの 精度あるキャリブレーションを行うため、このガイドブッ クの詳細な設定手順は各ステップを参照してください。



画像を表示しフォーカスを チェックして下さい



フォーカス**調整**をして 下さい





枚目の撮影をし、AF**をチェ** ッ**ク**して下さい



全てのレンズ**について繰り** 返して下さい

<u>datacolor</u>



SpyderLensCal™の設置

SpyderLensCal[®]をフラット状態から立たせ、メイン ターゲットとするルーラーを正しい位置に設置しま す。SpyderLensCal[®]の底部にある三脚用ネジ穴で三脚に 設置できます。SpyderLensCal[®]には水準器が 配置され ていますので、レベル調整に使用できます。また、簡易的に 机の上や棚などに置いて使用で来ます。



カメラの設定

どのカメラとレンズをキャリブレーションするかを決定 し、オートフォーカスに設定されていることと手ぶれ補 正をオフにし絞り優先モードまたはマニュアルモード にします。三脚にカメラの設定は非常に便利ですが、必 須ではありません。三脚を使用すると、プロセスが簡単 で容易になります。

また、ISO200以上、カメラのコントラストとシャープネスの設定を最大にする事でSpyderLensCal[®]の測定値を確認し易くなります。



距離設定

レンズをキャリブレーションするために、推奨値としては 最も良く使用する距離をお勧めします。SpyderLensCal" とカメラは常に水平で同じ高さに設置し、SpyderLensCal の前面ターゲット面にレンズ前面が平行に設置して下さい。 イラスト左の正しい位置にして下さい。 また、通常ズームレンズの場合は望遠側で設定します。





光学距離=常用距離/焦点距離x10~15倍例。

35mm x 10~15 = 35~52,5cm





適切な照明と場所を選択して下さい。暗すぎず、直接カメ ラの液晶背面がコントロール出来ない様な強い光が当 たらない様にし、ターゲットの場所は、複数の角度からま たは単一の光で、適量にして下さい。スタジオ撮影のよう な設置場所は優れていますが、必ずしも必要ではではあ りません。



datacolor



レンズ精度のテスト

SpyderLensCalの垂直ターゲットの右端にある小さな中心点 をカメラのピントの目標とし、単一または複数の撮影を行い ます。ファインダーをのぞいて赤のインジケータのドットがル ーラーをターゲットにしていることを確認して下さい。ファイ ンダー中央の四角い赤い点で、オートフォーカスシステムが ターゲットにロックされていることを確認します。カメラが選 択したフォーカスポイントをハイライト表示している場合、タ ーゲットの面は、意図したフォーカス面として選択されてい ます。





テスト画像の検証

カメラの液晶画面上のターゲットショットを選択してくださ い。ターゲットに隣接する定規のセクションにズームインしま す。カメラの最大ズームで一つ鮮明であるかを確認するため にルーラー上のマークと数字を調べる。そのオートフォーカ スシステムを使用してカメラとレンズで定義されているよう に、そのマークは、焦点の中央を表します。テスト画像を大き く観るため、お使いのコンピュータにテスト画像を転送して ご確認下さい



フォーカスチェック

カメラとカメラとレンズレンズのコンビネーションで正確に キャリブレーションすると"0"のラインがシャープになります。 画像の"0"がシャープでない場合はカメラとレンズのコンビ ネーションが調整されていません。

ルーラーを確認し、前または後部がシャープかどうかをチェ ックして下さい。"0"のマークの後ろのラインがシャープの場 合、レンズは、"後ピン"で、前がシャープの場合、レンズは"前 ピン"です。







トートフォーカス修正

後ピンや前ピンのキャリブレーションを行ため、カメラのオ ートフォーカスの補正メニューのレンズの調整を選択し ます。

キャリプレーション設定: SpyderLensCal ルーラーの数字は、カメラが前ビンまたは後ピンである か正確にセンチメートルで表しています。これで、ミリメートル単位でフォーカスを修正することが できます。前ビンを修正する場合は、前方に調整し後ビンはその逆です。ルーラー上の数字は、カ メラの調整メニューの数値と相関関係がないことに注意してください。

C.Fn II: Autofocus/Drive 8 AF Microadjustment	C.FnII:Autofocus/Drive AF Microadjustment	8	
EF24-105m f/4L IS USN	0:Disable 1:Adjust all by same amount	±0	
Forward 🂒 Backward	2:Adjust by lens	±O	
-20 -10 0 +10 +20	(MED) Change (Clear	🛱 Clear all	

<u>datacolor</u>



調整のチェック

調整が最適であることを確認してください。されていない 場合は、SpyderLensCal『のルーラーで"0"のマークが最も シャープなるまで増減を調整します 最もシャープな範囲



オーカスを外しオートフ -カス

オートフォーカスを使用して新しい撮影する前に、オートフォーカスが正常に動作していることを確認するため に手動でレンズをフォーカス解除します。(レンズがほぼ 焦点している場合、時には、再びオートフォーカスしない 場合があります) レンズのフォーカスを外し

1140





レンズの再キャリブレーション

レンズの各々のキャリブレーションプロセスを繰り返しま す。レンズを頻繁に使用したり、極端な温度にさらされる場 合、時々は設定を確認してください。また、新しいレンズを 取得された時も、同様のプロセスを繰り返して下さい。



SpyderLensCal[™]ノウハウ

下記リンクよりSpyderLensCal[®]のチュートリアルビデオがご 覧いただけます。

チュートリアルビデオ

http://spyder.datacolor.com/learn_videos_spyderlenscal1.php

